

作物統計調査
令和8年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量
(中国地域・四国地域)

令和8年産主食用米収穫量は前年産に比べ減少の見込み

【調査結果の概要】

- 1 令和8年産の水稻の9月25日現在の生産者が使用しているふるい目幅ベースの予想収穫量(主食用)^{※1}は、中国地域が47万7,100 t で前年産に比べ5,000 t 減少、四国地域が21万300 t で前年産に比べ5,500 t 減少と見込まれる。

※1 生産者が使用しているふるい目幅(管内1.80~1.90mm)ベースのふるい上米。

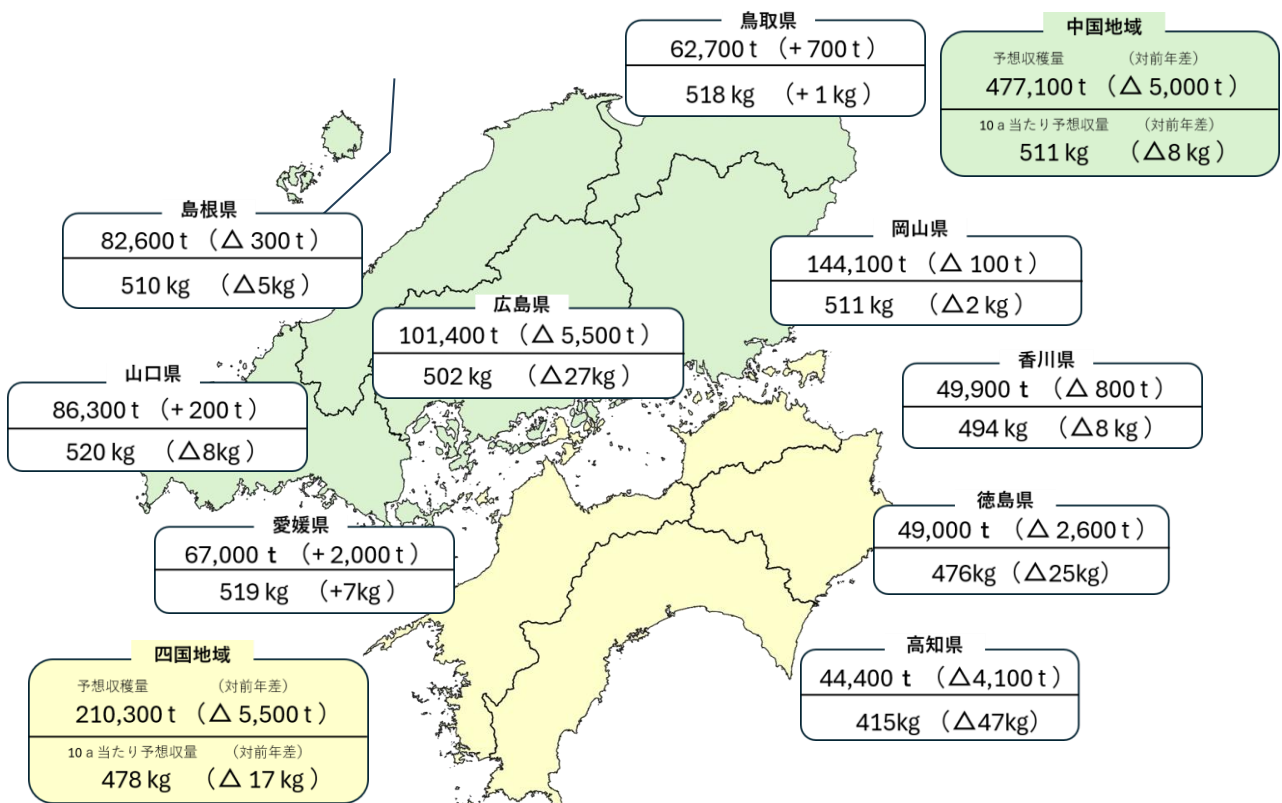
これは、中国地域・四国地域とも作付面積(主食用)が増加と見込まれるものの、9月25日現在における10a当たり予想収量(生産者が使用しているふるい目幅ベース)が減少と見込まれるためである。

- 2 管内の作況単収指数は、鳥取県106、島根県105、岡山県103、広島県97、山口県105、徳島県103、香川県101、愛媛県104、高知県93と見込まれる。

- 3 令和8年産の水稻の9月25日現在のふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量(主食用)^{※2}は、中国地域が49万6,700 t で前年産に比べ2,700 t 減少、四国地域が21万4,600 t で前年産に比べ5,400 t 減少と見込まれる。

※2 生産者が使用しているふるい目幅(管内1.80~1.90mm)ベースのふるい下米を含む。

図 地域別・県別予想収穫量及び10a当たり予想収量
(生産者が使用しているふるい目幅ベース)



- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積（9月15日時点）を除いた面積である（24ページの【参考1】参照）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である（令和8年産は予想）。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である（令和8年産は予想）。
- 10a 当たり予想収量及び予想収穫量は、収穫を終えた地域では刈取り実測による結果であるが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定した結果である。したがって、今後の気象条件等により変動することがある。
- 作況単収指数とは、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり収量の比率である。

◎ 累年データ

水稻の年次別推移（中国地域・四国地域）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
	主食用		10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
中国地域 令和3年産	105,600	95,900	492	108	472,000	517	107	496,100	97
4	103,500	92,800	498	101	462,900	524	101	486,400	100
5	101,700	90,900	497	100	452,300	514	98	467,800	101
6	100,100	90,400	498	100	450,000	512	100	463,000	101
7	99,200	92,700	519	104	482,100	538	105	499,400	105
8 (概数値)	98,800	93,300	511	98	477,100	532	99	496,700	103
四国地域 令和3年産	49,000	45,400	467	104	212,700	482	103	219,900	100
4	48,000	44,000	477	102	209,400	497	103	218,400	103
5	46,900	42,700	468	98	199,700	482	97	205,500	101
6	46,000	42,300	471	101	199,400	481	100	203,600	102
7	45,800	43,700	495	105	215,800	505	105	220,000	106
8 (概数値)	45,700	44,000	478	97	210,300	488	97	214,600	101

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。

2 生産者が使用しているふるい目幅は、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。

3 令和6年産まで収穫量（主食用）として公表していたふるい目幅1.70mmの収穫量（主食用）は、令和7年産以降、収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））と表記することとした。

4 注意書きについては、次ページ以降の累年統計表において同じ。

【調査結果】

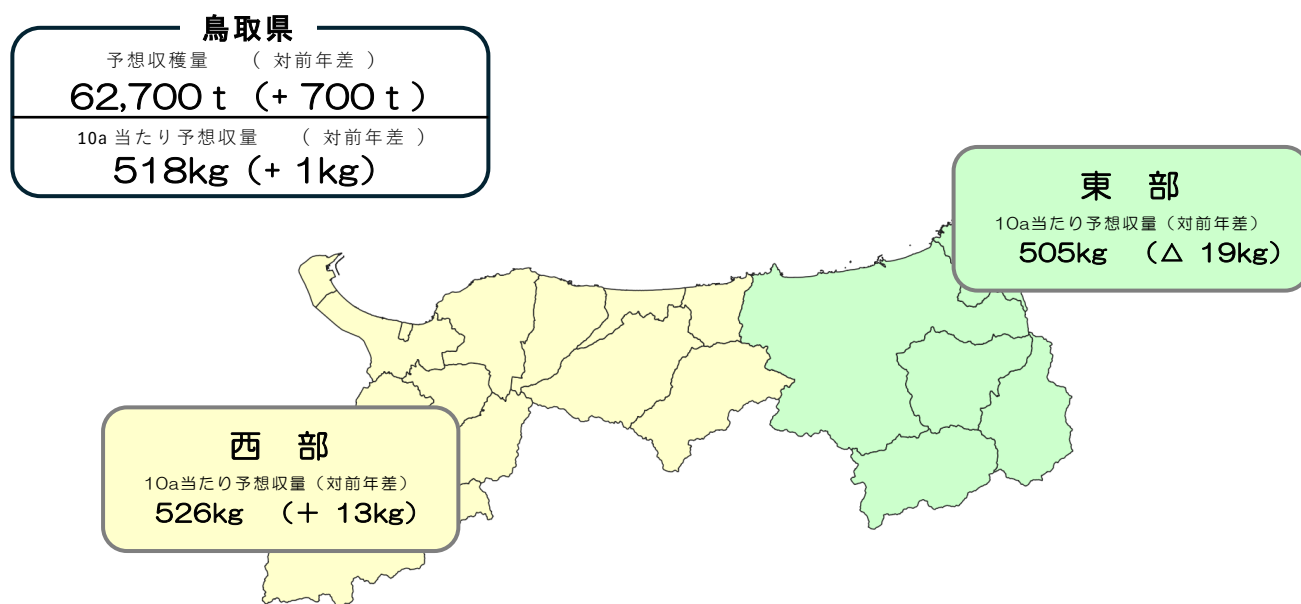
- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、中国地域で9万3,300ha（前年産に比べ600ha増加）、四国地域で4万4,000ha（同300ha増加）と見込まれる。これは、新規需要米や加工用米等からの転換等があったためである。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、中国地域で511kg（前年産に比べ△8kg）、四国地域で478kg（同△17kg）と見込まれる。
これを県別にみると、鳥取県518kg（同＋1kg）、島根県510kg（同△5kg）、岡山県511kg（同△2kg）、広島県502kg（同△27kg）、山口県520kg（同△8kg）、徳島県476kg（同△25kg）、香川県494kg（同△8kg）、愛媛県519kg（同＋7kg）、高知県415kg（同△47kg）と見込まれる。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、中国地域で47万7,100t（前年産に比べ5,000t減少）、四国地域で21万300t（同5,500t減少）と見込まれる。
- 4 管内の作況単収指数は、鳥取県106、島根県105、岡山県103、広島県97、山口県105、徳島県103、香川県101、愛媛県104、高知県93と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、中国地域で49万6,700t（前年産に比べ2,700t減少）、四国地域で21万4,600t（同5,400t減少）と見込まれる。

【調査結果（県別概要）】

<鳥取県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万2,100haで、前年産に比べ100ha増加が見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、518kg（前年産に比べ+1kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、東部505kg（同△19kg）、西部526kg（同+13kg）と見込まれる。
これは、出穂期以降の多照の影響で登熟初期は順調であったが、9月の日照不足による影響で、千もみ当たり収量は「やや少ない」と見込まれるものの、田植期以降高温・多照で推移したこと等から穂数が「前年並み」で、1穂当たりもみ数が「やや多い」、全もみ数は、作柄の良かった「前年並み」となったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、6万2,700t（前年産に比べ700t増加）と見込まれる。
- 4 鳥取県の作況単収指数は106と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、6万5,600t（前年産に比べ1,600t増加）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）

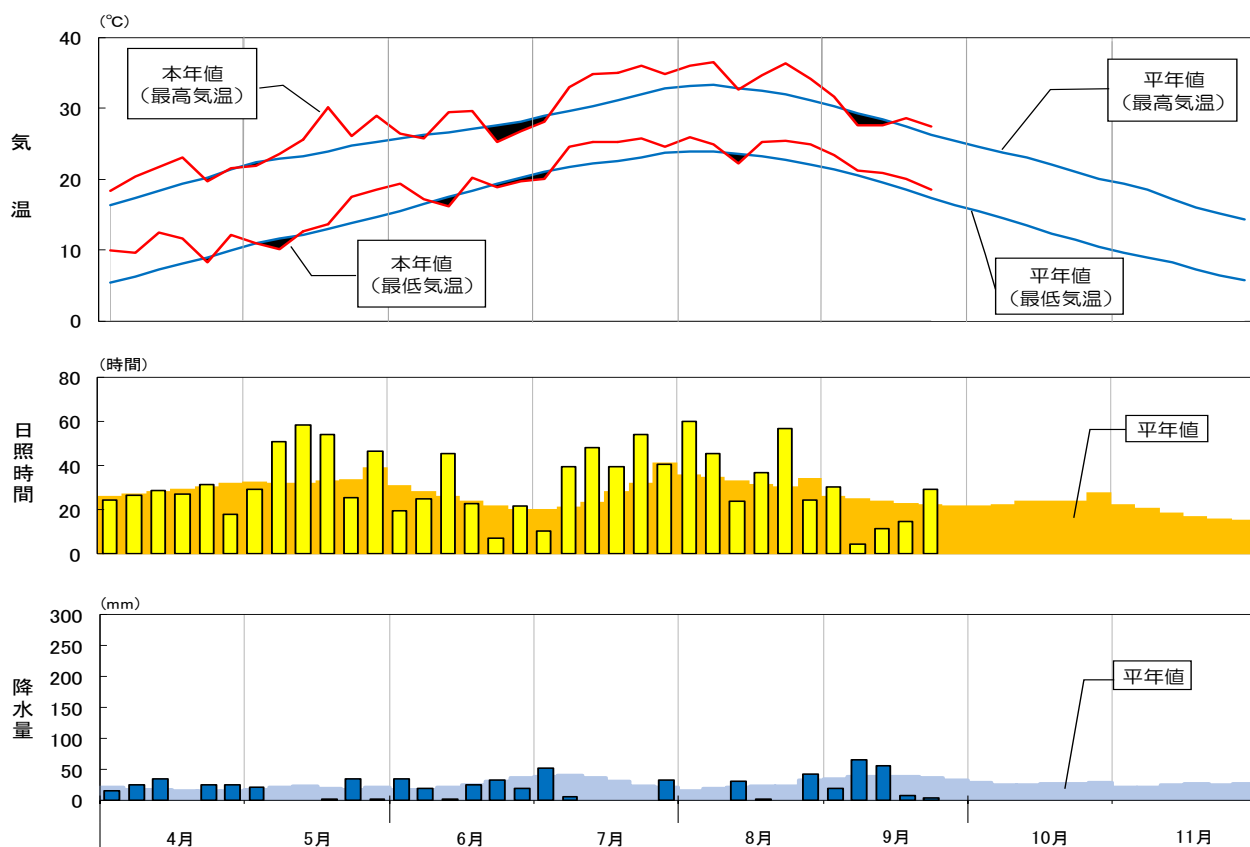


◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数	
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比		収 穫 量 (主食用(生産者ふる い下米含む))
	ha	ha								
鳥取県 令和3年産	13,600	12,400		485	98	60,100	505	99	62,600	97
4	13,300	12,000		494	102	59,300	514	102	61,700	100
5	13,100	11,700		469	95	54,900	481	94	56,300	96
6	12,900	11,600		491	105	57,000	502	104	58,200	100
7	12,900	12,000		517	105	62,000	533	106	64,000	106
8 (概数値)	12,900	12,100		518	100	62,700	542	102	65,600	106

◎ 半旬別気象図（観測地点：鳥取市）

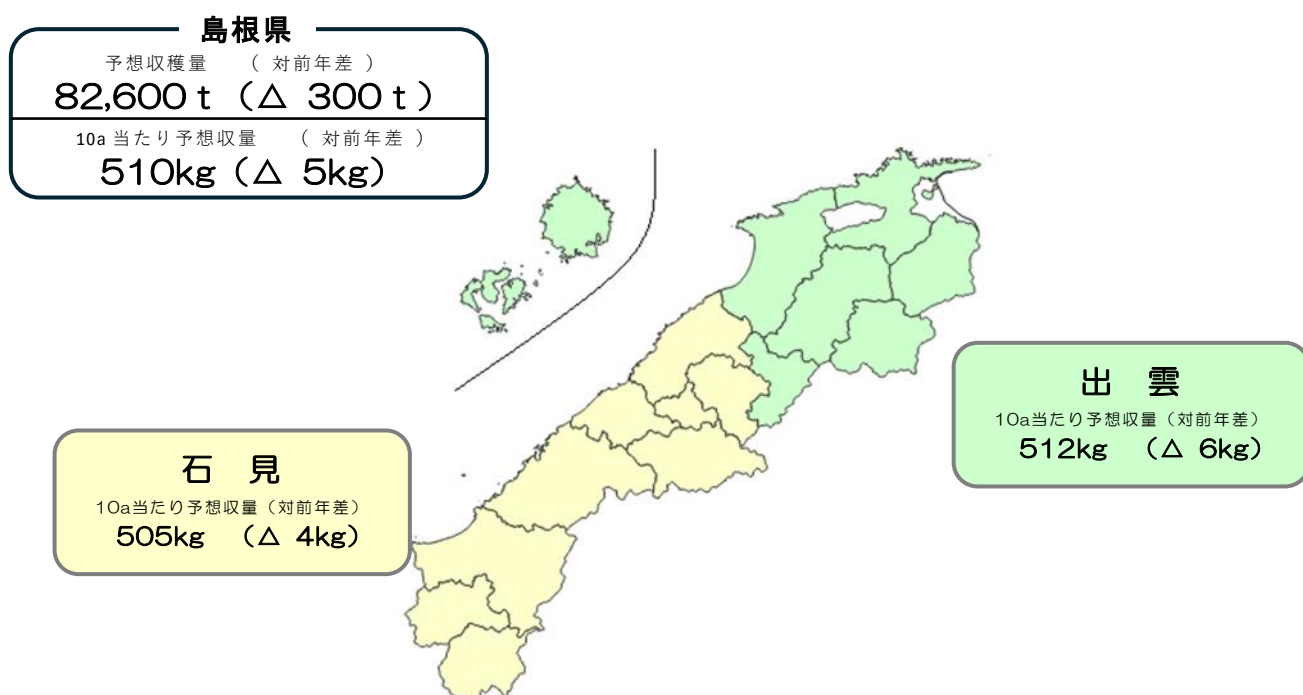


資料：気象庁『アメダスデータ』

<島根県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万6,200haで、前年産に比べ100ha増加が見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.90mmベース）は、510kg（前年産に比べ△5kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、出雲512kg（同△6kg）、石見505kg（同△4kg）と見込まれる。
これは、9月が日照不足で推移したが、全もみ数が「やや少ない」ことの補償作用や出穂期以降の多照の影響で登熟初期は順調であったため、千もみ当たり収量は「やや多い」と見込まれるものの、田植期以降、総じて日照不足で推移したことから穂数は「少ない」となり、1穂当たりもみ数は補償作用から「やや多い」となったが、全もみ数は「やや少ない」となったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.90mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、8万2,600t（前年産に比べ300t減少）と見込まれる。
- 4 島根県の作況単収指数は105と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、8万7,300t（前年産に比べ100t減少）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.90mmベース）

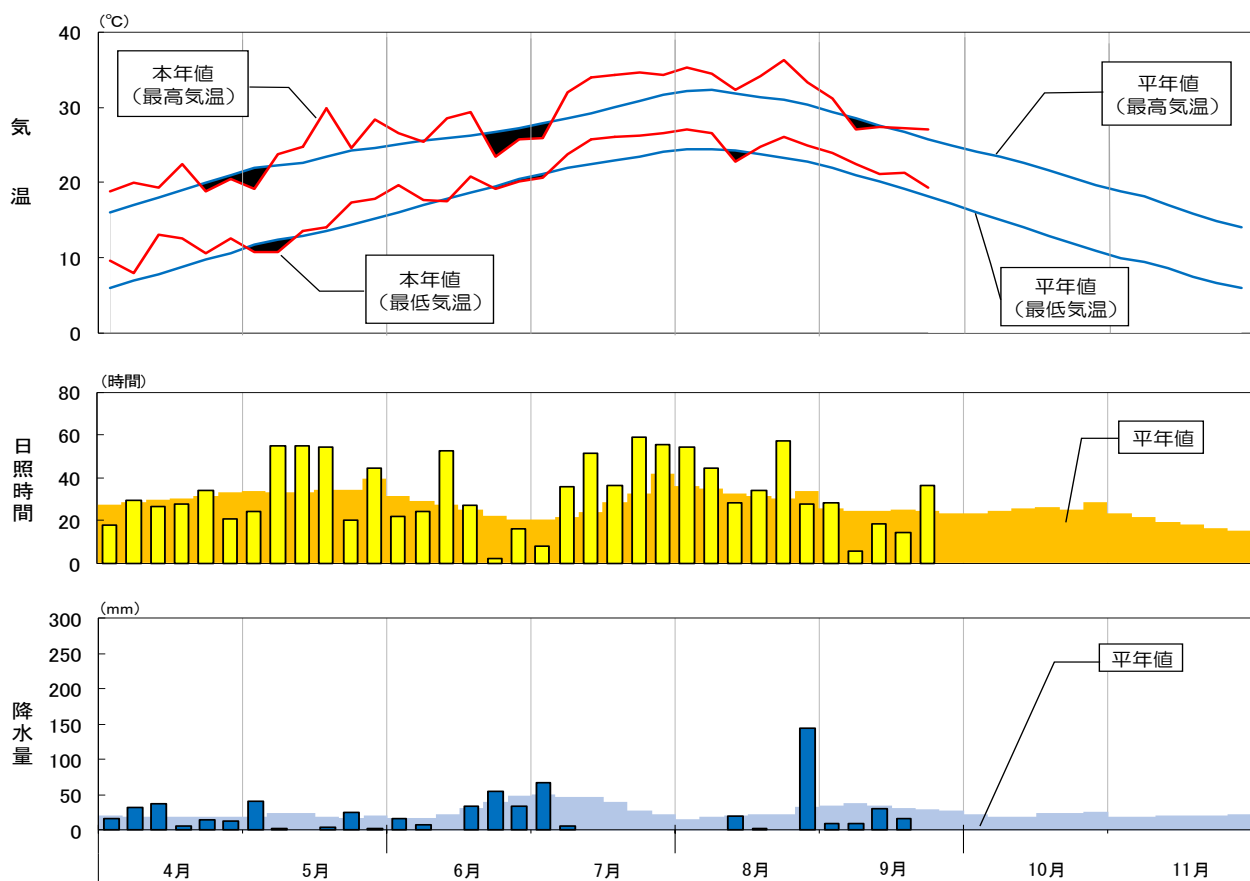


◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
島根県 令和3年産	18,200	16,500	483	101	79,700	521	102	86,000	99
4	17,900	16,100	485	100	78,100	519	100	83,600	100
5	17,700	15,900	489	101	77,800	515	99	81,900	101
6	17,500	15,700	485	99	76,100	505	98	79,300	101
7	17,400	16,100	515	106	82,900	543	108	87,400	106
8 (概数値)	17,300	16,200	510	99	82,600	539	99	87,300	105

◎ 半旬別気象図（観測地点：松江市）

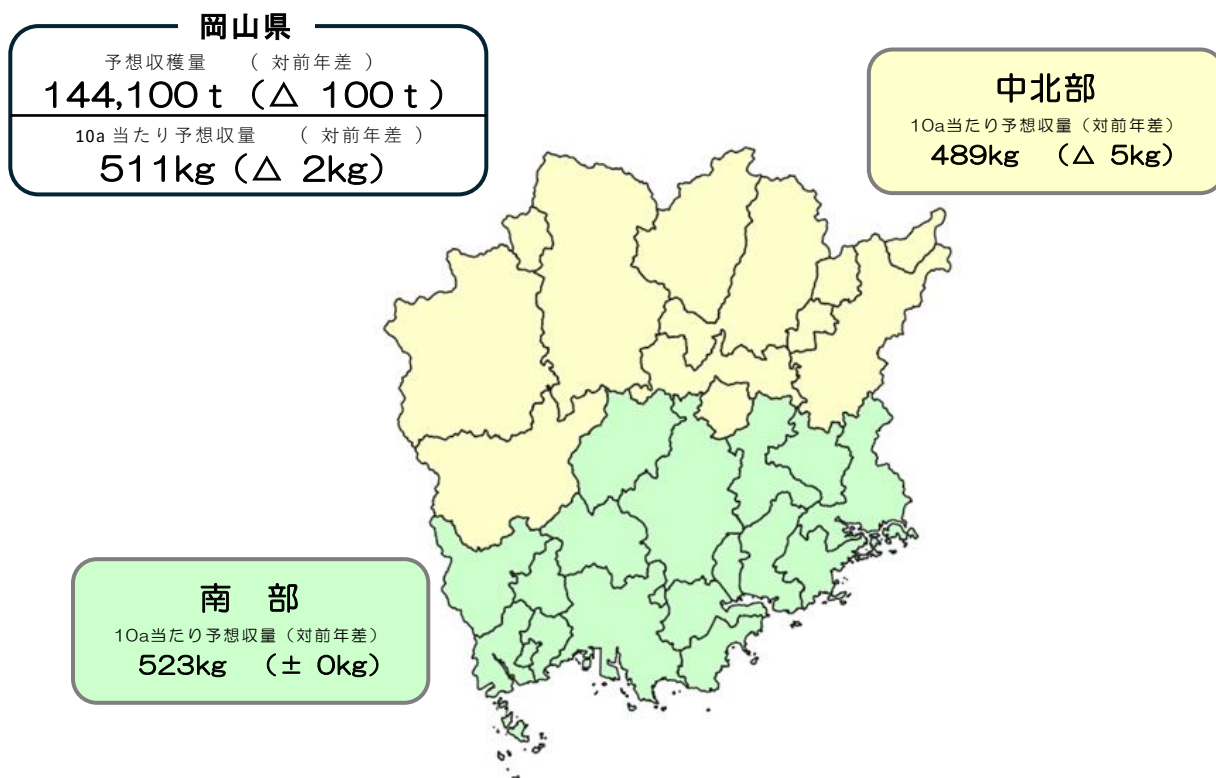


資料：気象庁『アメダスデータ』

<岡山県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、2万8,200haで、前年産に比べ100ha増加が見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、511kg（前年産に比べ△2kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、南部523kg（同±0kg）、中北部489kg（同△5kg）と見込まれる。
これは、9月が日照不足で推移したが、全もみ数が「やや少ない」ことの補償作用や出穂期以降の多照の影響で登熟初期は順調であったため、千もみ当たり収量は「前年並み」と見込まれるものの、田植期以降の低温・日照不足の影響で、穂数は「やや少ない」となり、1穂当たりもみ数は補償作用から「前年並み」となったが、全もみ数は「やや少ない」となったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、14万4,100t（前年産に比べ100t減少）と見込まれる。
- 4 岡山県の作況単収指数は103と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、15万t（前年産に比べ1,100t増加）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）

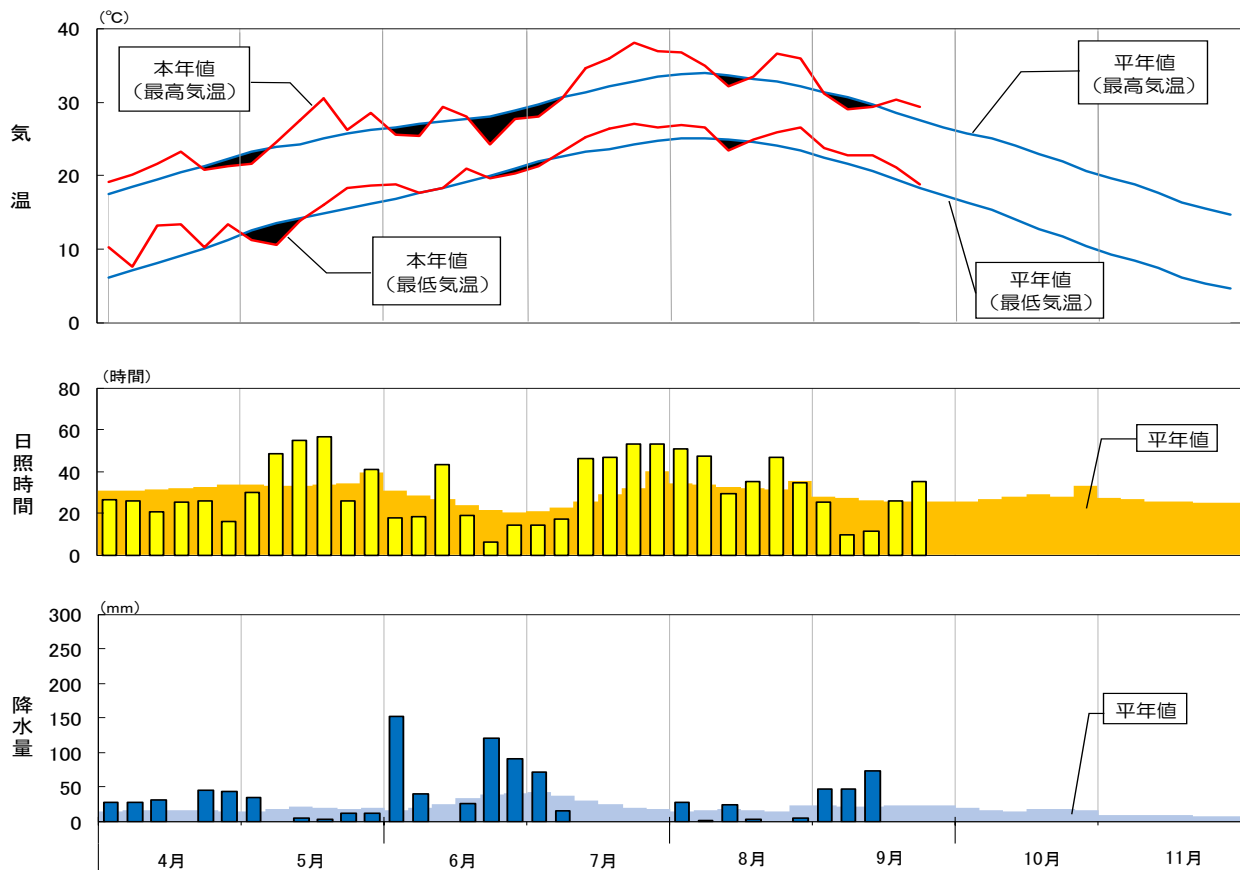


◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)		生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
			主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	
	ha	ha							
岡山県 令和3年産	30,900	27,900	498	105	138,900	524	104	146,200	101
4	30,500	27,100	496	100	134,400	524	100	142,000	101
5	30,100	26,900	497	100	133,700	514	98	138,300	101
6	29,700	27,200	496	100	134,900	510	99	138,700	100
7	29,400	28,100	513	103	144,200	530	104	148,900	103
8 (概数値)	29,300	28,200	511	100	144,100	532	100	150,000	103

◎ 半旬別気象図（観測地点：岡山市）

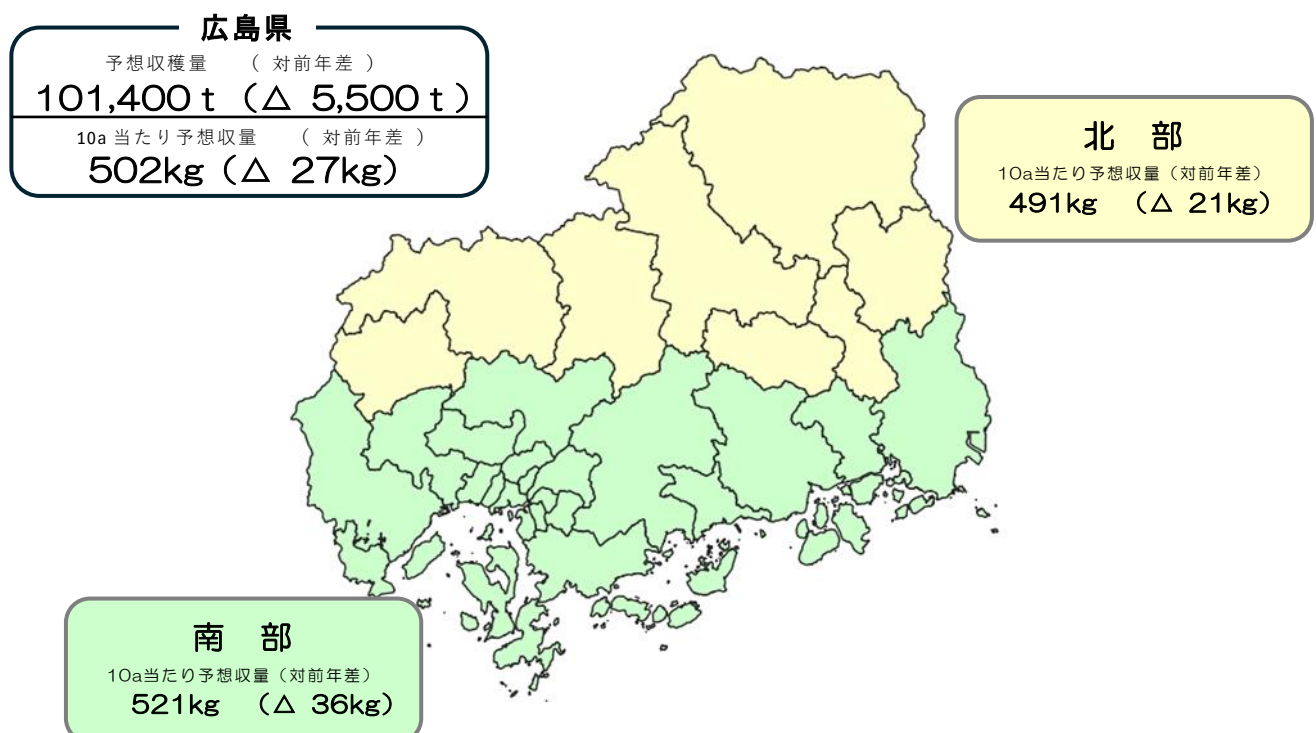


資料：気象庁『アメダスデータ』

<広島県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、2万200haで、前年産並みが見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、502kg（前年産に比べ△27kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、南部521kg（同△36kg）、北部491kg（同△21kg）と見込まれる。
これは、9月が低温・日照不足で推移したが、全もみ数が「少ない」ことの補償作用や7月中旬から8月が総じて高温・多照であったため、千もみ当たり収量は「やや多い」と見込まれるものの、6月から7月上旬にかけての低温・日照不足の影響により、穂数は「少ない」となり、1穂当たりもみ数は補償作用から「前年並み」となったが、全もみ数は「少ない」となったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、10万1,400t（前年産に比べ5,500t減少）と見込まれる。
- 4 広島県の作況単収指数は97と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、10万4,000t（前年産に比べ5,900t減少）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）

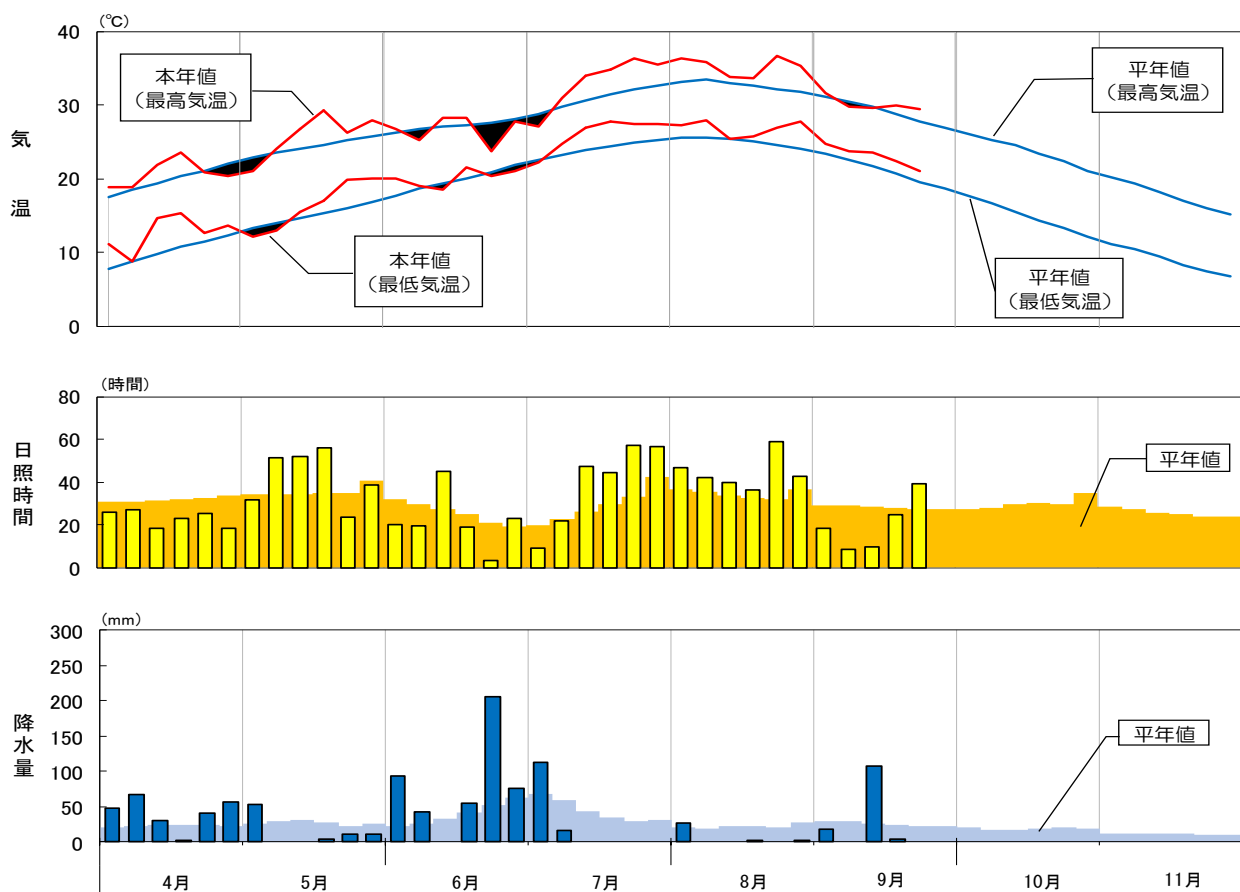


◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用している ふるい目幅で選別				ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
広島県 令和3年産	23,200	21,700	502	106	108,900	522	105	113,300	100
4	22,800	21,100	511	102	107,800	530	102	111,800	103
5	22,200	20,500	522	102	107,000	535	101	109,700	105
6	21,700	20,100	515	99	103,500	526	98	105,700	104
7	21,300	20,200	529	103	106,900	544	103	109,900	104
8 (概数値)	21,200	20,200	502	95	101,400	515	95	104,000	97

◎ 半旬別気象図（観測地点：広島市）

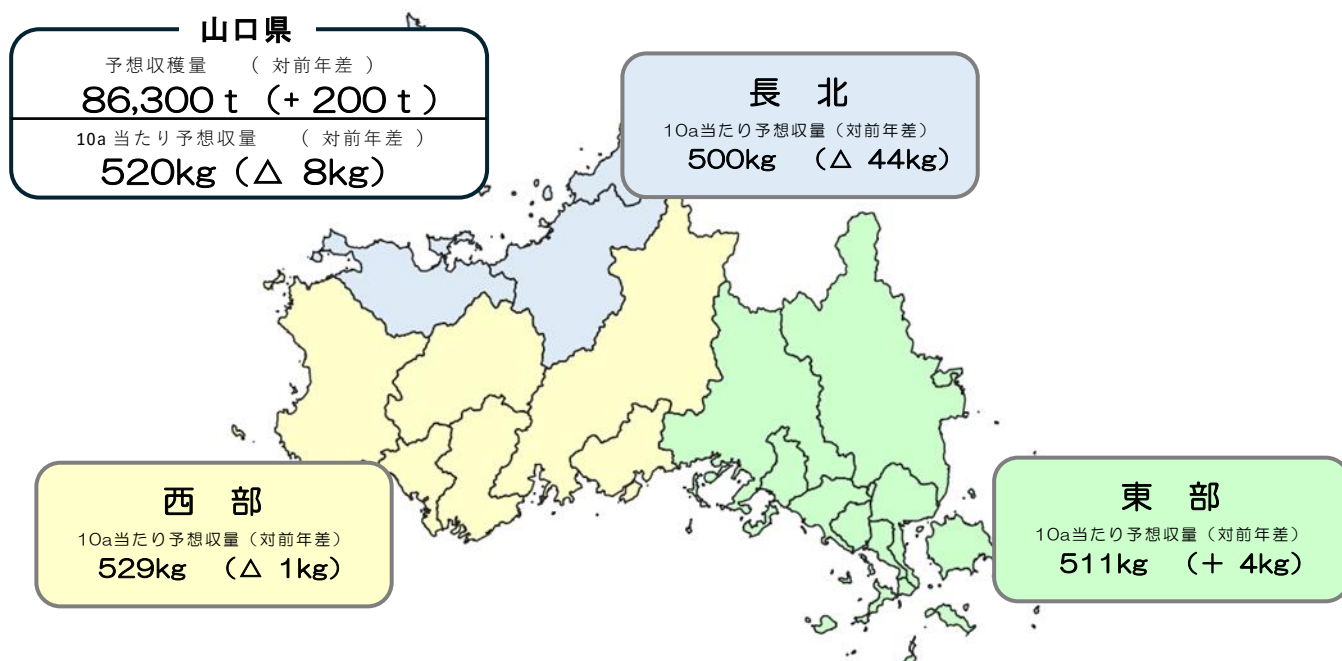


資料：気象庁『アメダスデータ』

<山口県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万6,600haで、前年産に比べ300ha増加が見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）は、520kg（前年産に比べ△8kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、東部511kg（同+4kg）、西部529kg（同△1kg）、長北500kg（同△44kg）と見込まれる。
これは、7月下旬から8月が総じて高温・多照であったが、9月が低温・日照不足で推移したことから千もみ当たり収量は「やや少ない」と見込まれ、6月下旬から7月上旬にかけての低温・日照不足の影響により、穂数は「やや少ない」となったが、7月中旬以降は高温・多照となったことから1穂当たりもみ数は「やや多い」となり、全もみ数は「前年並み」となったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、8万6,300t（前年産に比べ200t増加）と見込まれる。
- 4 山口県の作況単収指数は105と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、8万9,800t（前年産に比べ600t増加）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.85mmベース）

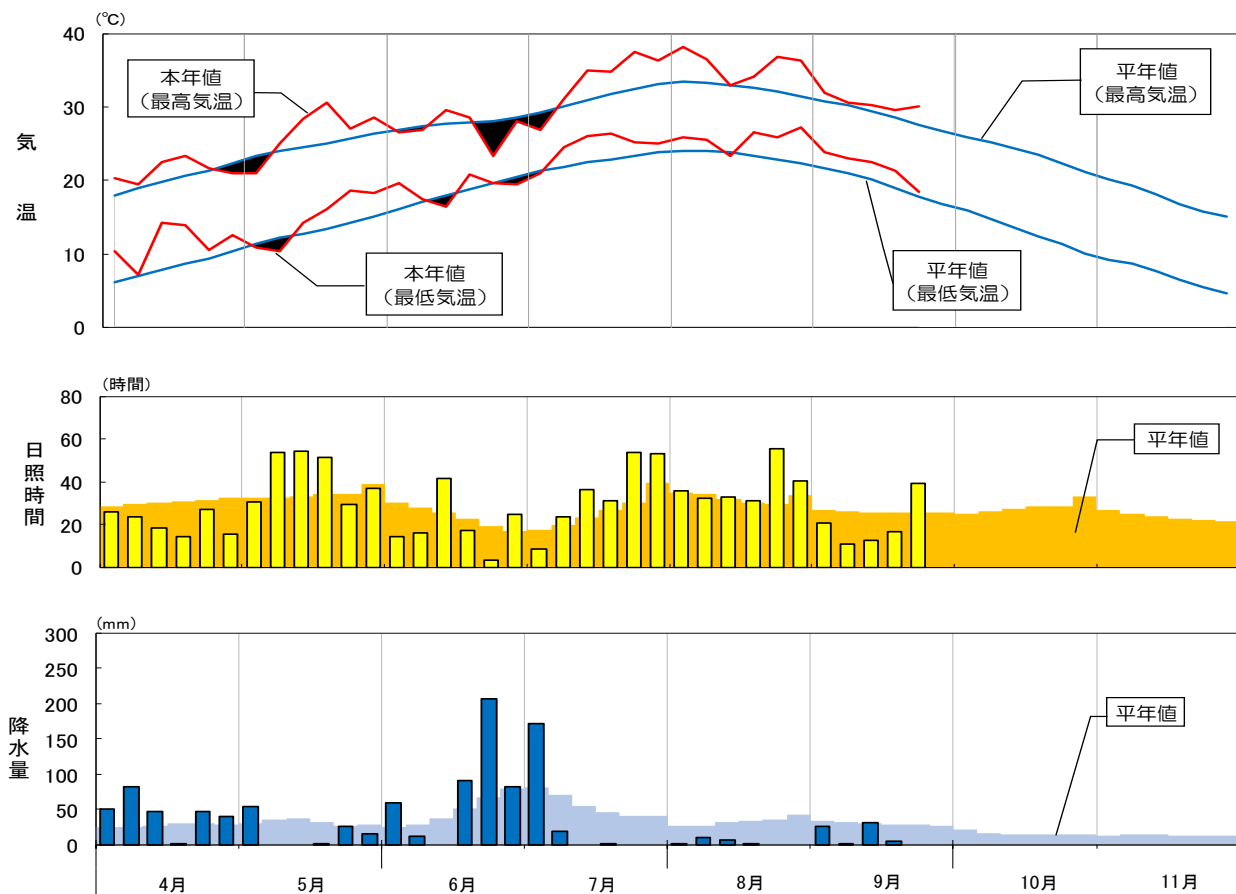


◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用している ふるい目幅で選別				ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当 たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当 たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
山口県 令和3年産	19,700	17,400	485	139	84,400	506	131	88,000	101
4	19,100	16,600	502	104	83,300	526	104	87,300	105
5	18,600	16,000	493	98	78,900	510	97	81,600	103
6	18,300	15,800	497	101	78,500	513	101	81,100	104
7	18,200	16,300	528	106	86,100	547	107	89,200	107
8 (概数値)	18,200	16,600	520	98	86,300	541	99	89,800	105

◎ 半旬別気象図（観測地点：山口市）

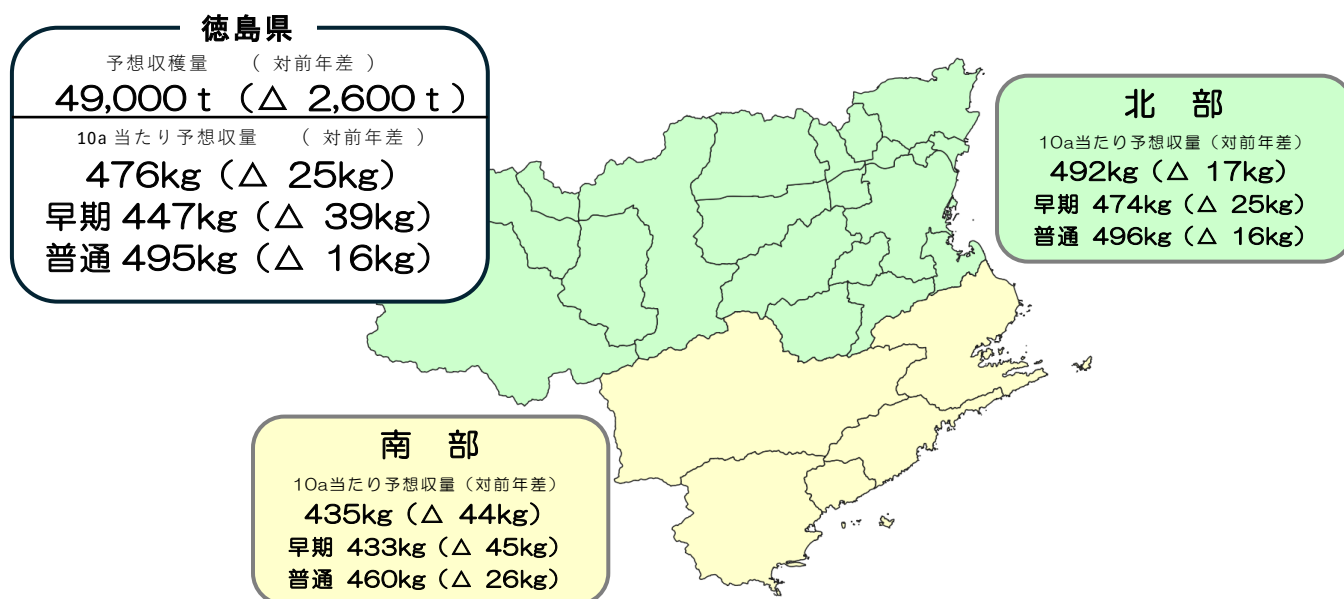


資料：気象庁『アメダスデータ』

<徳島県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万300haで、前年産並みが見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、476kg（前年産に比べ△25kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、北部492kg（同△17kg）、南部435kg（同△44kg）と見込まれる。
作期別では、早期栽培は447kg（同△39kg）となった。
これは、全もみ数が「前年並み」となったが、登熟期の7月から8月にかけて高温・少雨となったことから、千もみ当たり収量が前年より「少ない」となったためである。
普通栽培は495kg（同△16kg）と見込まれる。
これは、5月が高温・多照で推移したが、6月が低温・日照不足で推移したことから全もみ数が「前年並み」となったことや、千もみ当たり収量が「前年並み」と見込まれるためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、4万9,000t（前年産に比べ2,600t減少）と見込まれる。
- 4 徳島県の作況単収指数は103と見込まれる。作期別では、早期栽培99となり、普通栽培105と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、4万9,500t（前年産に比べ3,400t減少）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）



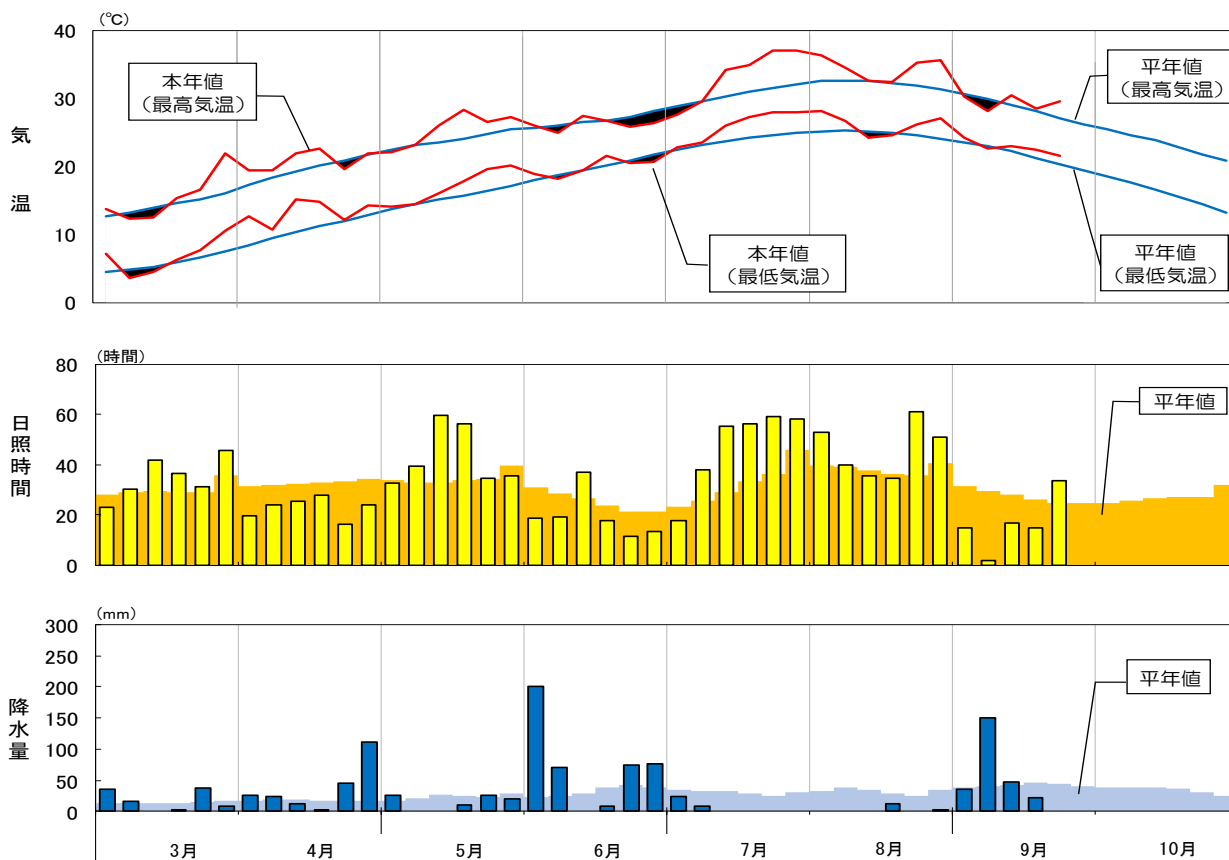
◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用している ふるい目幅で選別				ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい下米含む))	
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t	
徳島県 令和 3 年産	11,400	9,980	452	97	45,100	465	98	46,400	97
4	11,200	9,640	469	104	45,200	480	103	46,300	102
5	11,000	9,480	459	98	43,500	469	98	44,500	100
6	10,800	9,790	462	101	45,200	470	100	46,000	101
7	10,700	10,300	501	108	51,600	514	109	52,900	108
8 (概数値)	10,600	10,300	476	95	49,000	481	94	49,500	103
早期栽培 令和 3 年産	4,480	...	443	100	...	455	100	...	97
4	4,430	...	463	105	...	473	104	...	103
5	4,400	...	439	95	...	450	95	...	98
6	4,350	...	447	102	...	454	101	...	101
7	4,280	...	486	109	...	496	109	...	109
8 (概数値)	4,190	...	447	92	...	450	91	...	99
普通栽培 令和 3 年産	6,940	...	457	96	...	472	96	...	97
4	6,720	...	473	104	...	485	103	...	102
5	6,610	...	471	100	...	481	99	...	102
6	6,410	...	472	100	...	480	100	...	101
7	6,420	...	511	108	...	525	109	...	108
8 (概数値)	6,410	...	495	97	...	502	96	...	105

注：「・・・」は、事実不詳又は調査を欠くものであることを示している。

◎ 半旬別気象図（観測地点：徳島市）

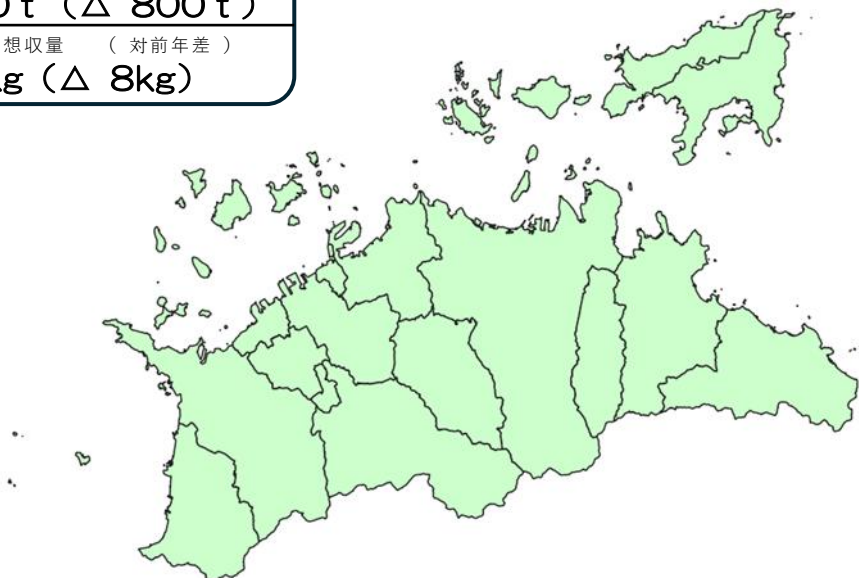


資料：気象庁『アメダスデータ』

<香川県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万100haで、前年産並みが見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、494kg（前年産に比べ△8kg）と見込まれる。
これは、8月が高温・多照で推移したが、9月が低温・日照不足で推移したことから、千もみ当たり収量は「前年並み」と見込まれ、6月から7月上旬にかけての低温・日照不足の影響で、穂数も「前年並み」となったものの、1穂当たりもみ数は「やや少ない」となったことから、全もみ数は「やや少ない」となったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、4万9,900t（前年産に比べ800t減少）と見込まれる。
- 4 香川県の作況単収指数は101と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、5万1,200t（前年産に比べ1,100t減少）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）

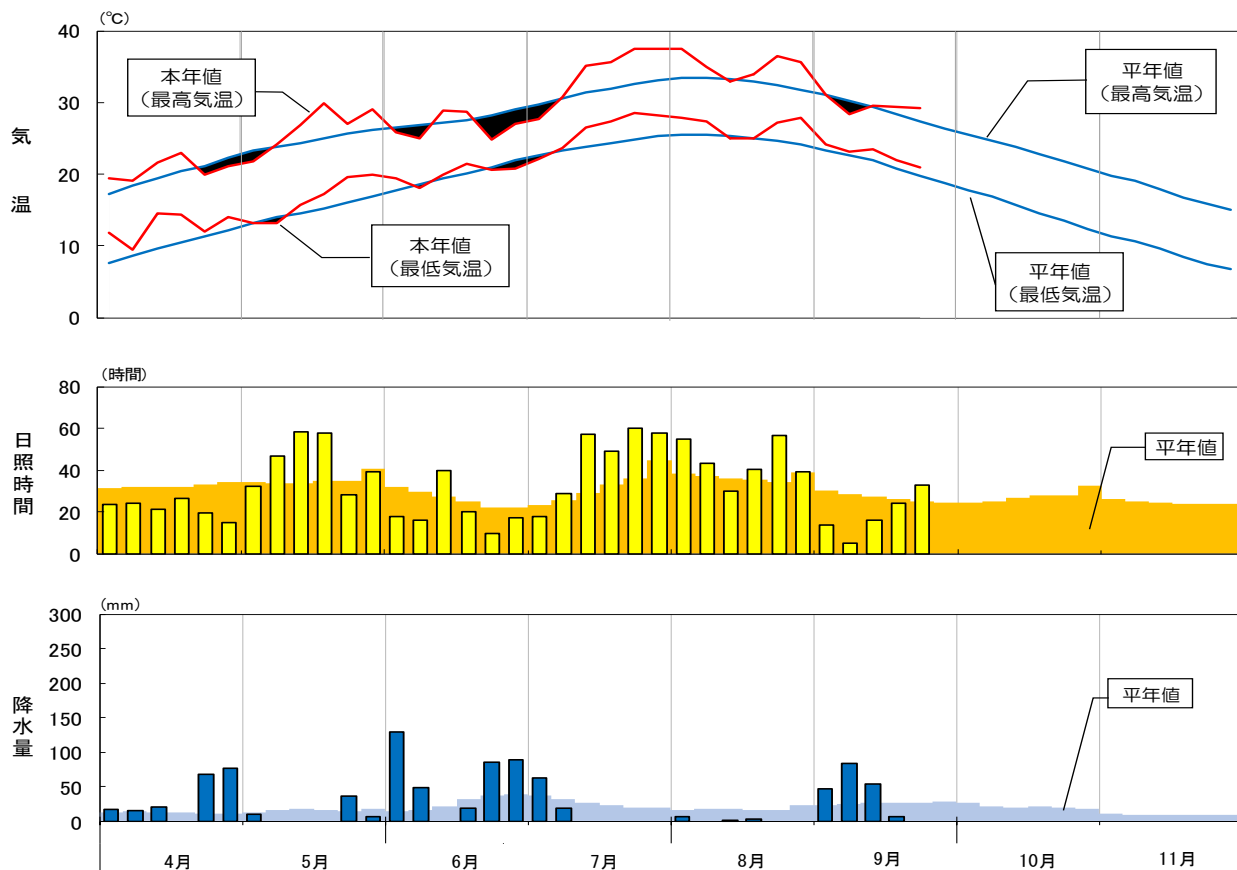


◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)	主食用	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
			10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふる い下米含む))	
			ha	kg	%	t	kg	%	
香川県 令和3年産	11,600	11,300	485	101	54,800	501	101	56,600	103
4	11,200	10,800	493	102	53,200	511	102	55,200	105
5	10,700	10,100	485	98	49,000	496	97	50,100	102
6	10,400	9,770	481	99	47,000	491	99	48,000	100
7	10,600	10,100	502	104	50,700	518	105	52,300	104
8 (概数値)	10,500	10,100	494	98	49,900	507	98	51,200	101

◎ 半旬別気象図（観測地点：高松市）

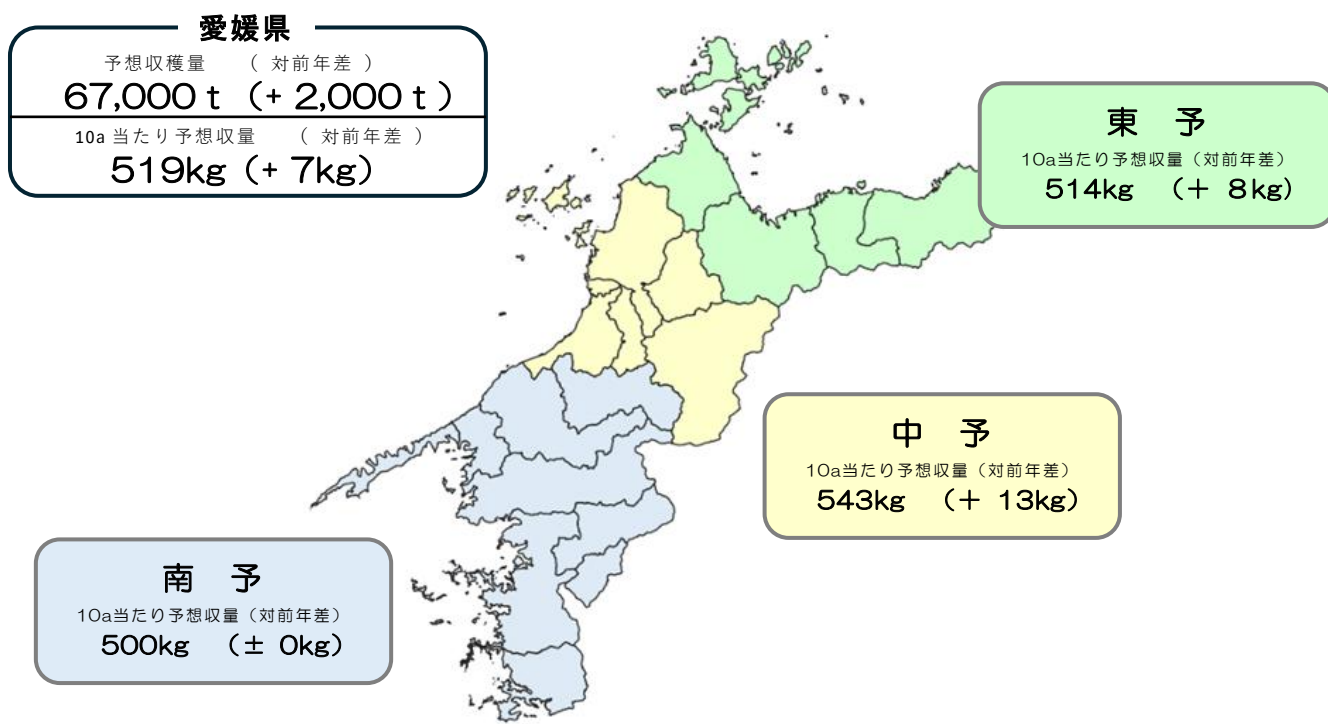


資料：気象庁『アメダスデータ』

<愛媛県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万2,900haで、前年産に比べ200ha増加が見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、519kg（前年産に比べ＋7kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、東予514kg（同＋8kg）、中予543kg（同＋13kg）、南予500kg（同±0kg）と見込まれる。
これは、出穂期以降の多照の影響で登熟初期は順調であったが、9月の日照不足による影響で、千もみ当たり収量は「前年並み」と見込まれ、6月から7月上旬が低温・日照不足で推移したこと等から穂数が減少する条件ではあったが、本年産から高温障害の影響を受けやすい品種から多収で高温耐性のある品種への転換が進んだことにより、全もみ数は作柄の良かった「前年並み」となったためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a 当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、6万7,000t（前年産に比べ2,000t 増加）と見込まれる。
- 4 愛媛県の作況単収指数は104と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、6万8,500t（前年産に比べ2,800t 増加）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a 当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）

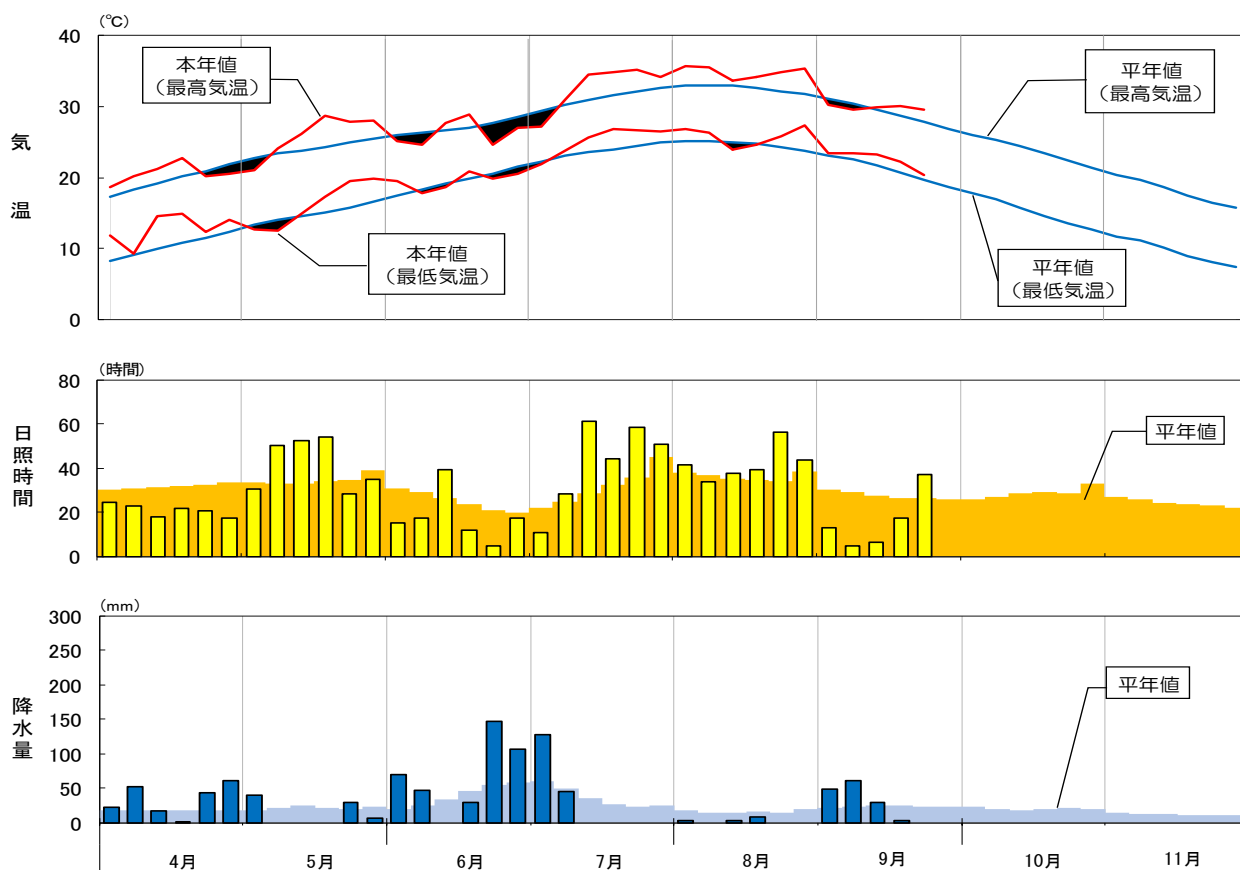


◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)	主食用	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別			作況 単収 指数
			10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふる い下米含む))	
			ha	ha	kg	%	t	kg	
愛媛県 令和3年産	13,700	13,200	489	114	64,500	510	108	67,300	106
4	13,500	13,000	489	100	63,600	524	103	68,100	106
5	13,400	12,800	483	99	61,800	505	96	64,600	104
6	13,300	12,700	491	102	62,400	502	99	63,800	102
7	13,200	12,700	512	104	65,000	517	103	65,700	104
8 (概数値)	13,200	12,900	519	101	67,000	531	103	68,500	104

◎ 半旬別気象図（観測地点：松山市）

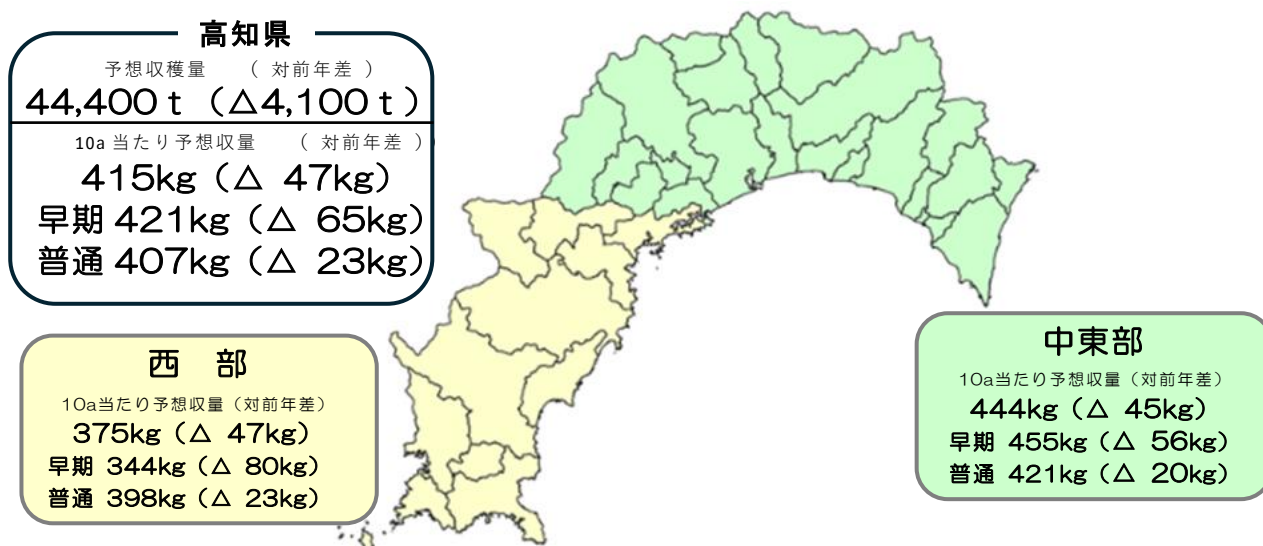


資料：気象庁『アメダスデータ』

<高知県>

- 1 令和8年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた作付面積（主食用）は、1万700haで、前年産に比べ200ha増加が見込まれる。
- 2 9月25日現在における10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）は、415kg（前年産に比べ△47kg）と見込まれる。作柄表示地帯別では、中東部444kg（同△45kg）、西部375kg（同△47kg）と見込まれる。
作期別では、早期栽培は421kg（同△65kg）となった。
これは、田植後の4月と6月が総じて日照不足であったが、5月上中旬は多照であったことから、全もみ数が「前年並み」となったものの、6月中旬以降から7月上旬までの日照不足の影響や台風による冠水、いもち病の発生等により千もみ当たり収量が前年より「少ない」と見込まれるためである。
普通栽培は407kg（同△23kg）と見込まれる。
これは、5月下旬から7月上旬の分けつ期が総じて日照不足であったことにより穂数が「少ない」となり、1穂当たりもみ数も「前年並み」となったことから全もみ数が前年より「少ない」となったが、9月の日照不足の影響で千もみ当たり収量は「前年並み」と見込まれるためである。
- 3 作付面積（主食用）に10a当たり予想収量（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）を乗じた予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、4万4,400t（前年産に比べ4,100t減少）と見込まれる。
- 4 高知県の作況単収指数は93と見込まれる。作期別では、早期栽培88となり、普通栽培100と見込まれる。
- 5 ふるい目幅1.70mmベースの予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、4万5,400t（前年産に比べ3,700t減少）と見込まれる。

図 予想収穫量及び10a当たり予想収量
（生産者が使用しているふるい目幅1.80mmベース）



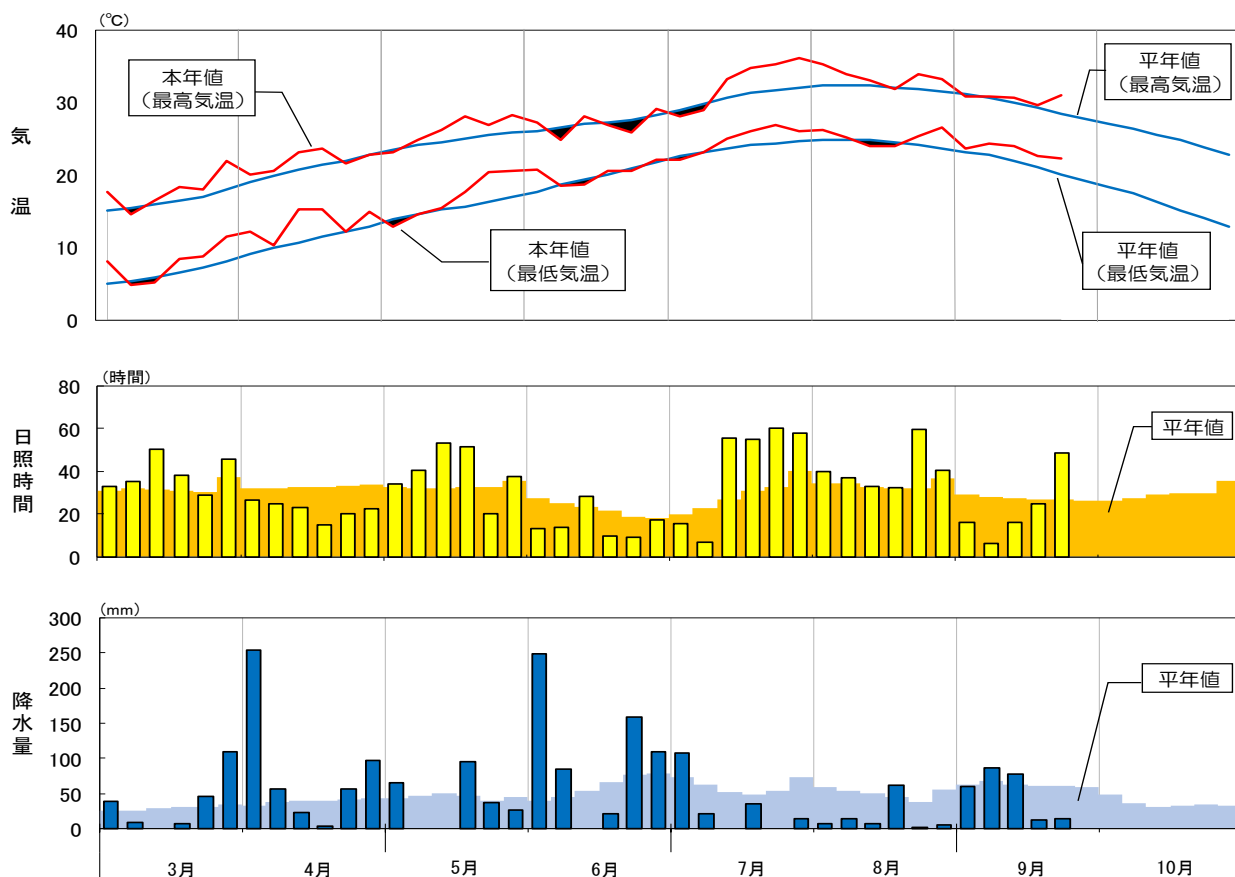
◎ 累年データ

水稻の年次別推移

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む。)	生産者が使用している ふるい目幅で選別				ふるい目幅 1.70mmで選別				作況 単収 指数
		主食用	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者 ふるい上米))	10 a 当たり 収 量	対前年比	収 穫 量 (主食用(生産者ふ るい下米含む))		
	ha	ha	kg	%	t	kg	%	t		
高知県 令和3年産	12,300	11,000	439	105	48,300	451	104	49,600	101	
	12,100	10,600	447	102	47,400	460	102	48,800	104	
	11,800	10,200	445	100	45,400	454	99	46,300	104	
	11,600	10,100	444	100	44,800	453	100	45,800	102	
	11,400	10,500	462	104	48,500	468	103	49,100	104	
8 (概数値)	11,300	10,700	415	90	44,400	424	91	45,400	93	
早期栽培 令和3年産	7,090	...	463	105	...	475	105	...	101	
	7,020	...	476	103	...	488	103	...	105	
	6,870	...	475	100	...	485	99	...	104	
	6,740	...	479	101	...	487	100	...	104	
	6,580	...	486	101	...	492	101	...	103	
8 (概数値)	6,520	...	421	87	...	429	87	...	88	
普通栽培 令和3年産	5,200	...	407	105	...	420	103	...	101	
	5,100	...	412	101	...	425	101	...	104	
	4,900	...	408	99	...	415	98	...	103	
	4,900	...	400	98	...	409	99	...	100	
	4,820	...	430	108	...	436	107	...	106	
8 (概数値)	4,780	...	407	95	...	418	96	...	100	

注：「・・・」は、事実不詳又は調査を欠くものであることを示している。

◎ 半旬別気象図（観測地点：高知市）



資料：気象庁『アメダスデータ』

表 令和8年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量

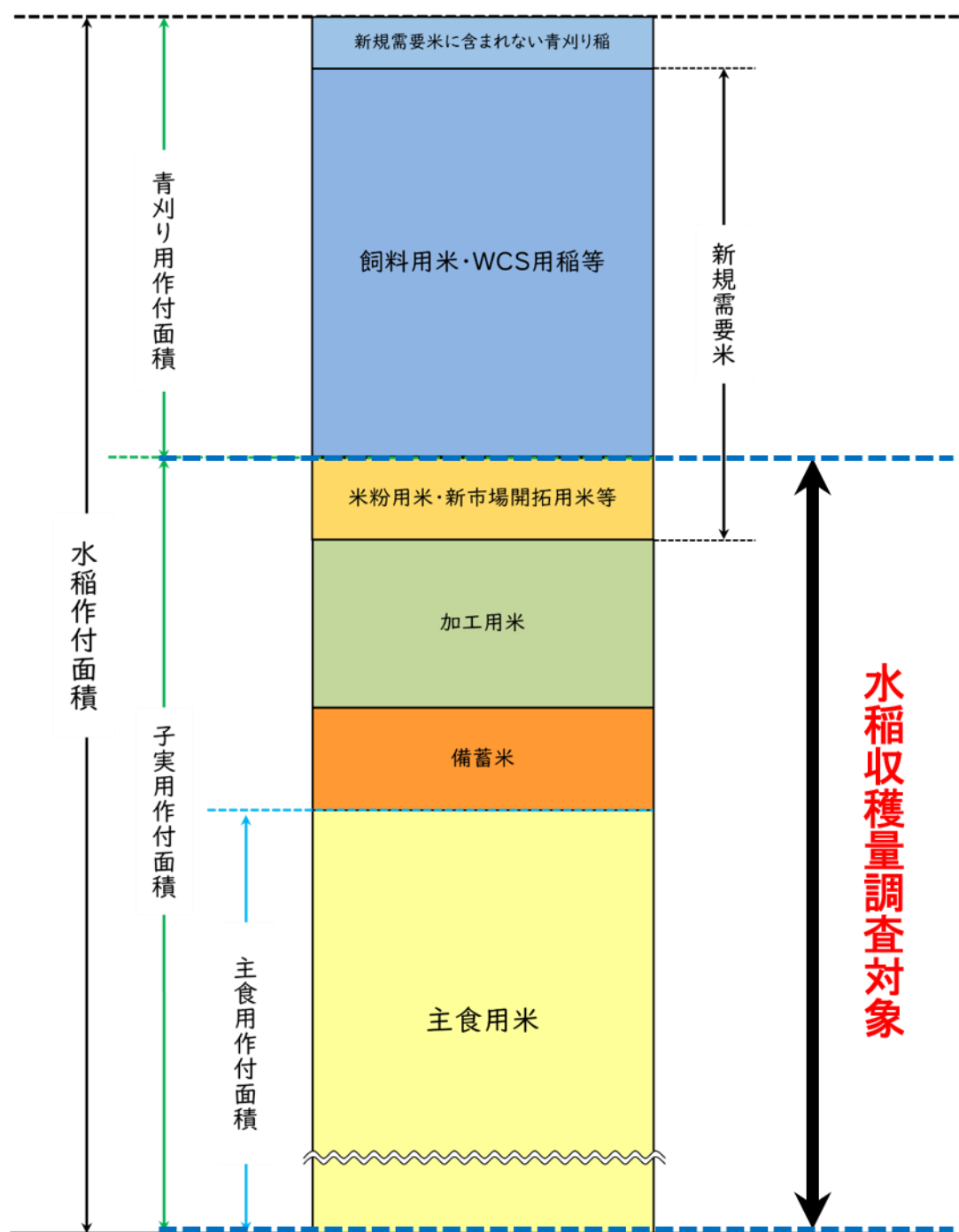
区 分	作付面積 (青刈り面積を含む。)				作付面積 (主食用)			生産者が使用しているふるい目幅で選別						
								10 a 当たり予想収量			A 予想収穫量 (主食用(生産者ふるい上米))			
	実 数	前年産との比較		実 数 ①	前年産との比較		最も多い 使用割合の 目幅	実 数 ②	前年産との比較	実 数 ③=①×②	前年産との比較			
		対 差	対 比		対 差	対 比					対 差	対 比		
中国地域 (1)	98,800	△	400	100	93,300	600	101	…	511	98	477,100	△	5,000	99
鳥 取 (2)	12,900		0	100	12,100	100	101	1.85	518	100	62,700		700	101
東 部 (3)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	505	96	…		nc	nc
西 部 (4)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	526	103	…		nc	nc
島 根 (5)	17,300	△	100	99	16,200	100	101	1.90	510	99	82,600	△	300	100
出 雲 (6)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.90	512	99	…		nc	nc
石 見 (7)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.90	505	99	…		nc	nc
岡 山 (8)	29,300	△	100	100	28,200	100	100	1.85	511	100	144,100	△	100	100
南 部 (9)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	523	100	…		nc	nc
中北部 (10)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	489	99	…		nc	nc
広 島 (11)	21,200	△	100	100	20,200	0	100	1.85	502	95	101,400	△	5,500	95
南 部 (12)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	521	94	…		nc	nc
北 部 (13)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	491	96	…		nc	nc
山 口 (14)	18,200		0	100	16,600	300	102	1.85	520	98	86,300		200	100
東 部 (15)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	511	101	…		nc	nc
西 部 (16)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	529	100	…		nc	nc
長 北 (17)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.85	500	92	…		nc	nc
四国地域 (18)	45,700	△	100	100	44,000	300	101	…	478	97	210,300	△	5,500	97
徳 島 (19)	10,600	△	100	99	10,300	0	100	1.80	476	95	49,000	△	2,600	95
早期栽培 (20)	4,190	△	90	98	…	nc	nc	1.80	447	92	…		nc	nc
普通栽培 (21)	6,410	△	10	100	…	nc	nc	1.80	495	97	…		nc	nc
北 部 (22)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.80	492	97	…		nc	nc
南 部 (23)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.80	435	91	…		nc	nc
香 川 (24)	10,500	△	100	99	10,100	0	100	1.80	494	98	49,900	△	800	98
愛 媛 (25)	13,200		0	100	12,900	200	102	1.80	519	101	67,000		2,000	103
東 予 (26)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.80	514	102	…		nc	nc
中 予 (27)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.80	543	102	…		nc	nc
南 予 (28)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.80	500	100	…		nc	nc
高 知 (29)	11,300	△	100	99	10,700	200	102	1.80	415	90	44,400	△	4,100	92
早期栽培 (30)	6,520	△	60	99	…	nc	nc	1.80	421	87	…		nc	nc
普通栽培 (31)	4,780	△	40	99	…	nc	nc	1.80	407	95	…		nc	nc
中東部 (32)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.80	444	91	…		nc	nc
西 部 (33)	…		nc	nc	…	nc	nc	1.80	375	89	…		nc	nc

- 注：1 作付面積（青刈り面積を含む。）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積である。
- 2 作付面積（主食用）（①）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 3 生産者が使用しているふりい目幅で選別された10a 当たり予想収量（②）及び予想収穫量（主食用（生産者ふりい上米））（③）は、生産者が使用しているふりい目幅で選別された玄米の重量である。
- 4 生産者が使用しているふりい目幅で選別された10a 当たり予想収量（②）については、県ごとに、過去5か年に生産者が使用したふりい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。なお、作柄表示地帯別については、県と同様のふりい目幅で選別された玄米を基に算出した数値である。
- 5 10a 当たり予想収量（⑤）及び予想収穫量（主食用（生産者ふりい下米含む））（⑥）は、1.70mmのふりい目幅で選別された玄米の重量である。
- 6 予想収穫量（生産者ふりい下米）（④）とは、予想収穫量（主食用（生産者ふりい下米含む））（⑥）から予想収穫量（主食用（生産者ふりい上米））（③）を差し引いた玄米の重量である。

B 予想収穫量 (生産者ふるい下米)			ふるい目幅1.70mmで選別						主な収量構成要素 (前年比較)				作況 単収 指数	10a 当たり 平均収量	
			10a 当たり予想収量		C = A + B 予想収穫量 (主食用(生産者ふるい下米含む))										
実 数 ④=⑥-③	前年産との比較		実 数 ⑤	前年産との比較 対 比	実 数 ⑥=①×⑤	前年産との比較		穂数の多少	1 も 穂 当 た り の み 数 少	全 も み 数 少	千 だ の た り 収 量 多 少				
	対 差	対 比				対 差	対 比								
t	t	%	kg	%	t	t	%								
19,600	2,300	113	532	99	496,700 △	2,700	99	…	…	…	…	103	498	(1)	
2,900	900	145	542	102	65,600	1,600	103	前年並み	やや多い	前年並み	やや少ない	106	490	(2)	
…	nc	nc	527	97	…	nc	nc	やや少ない	前年並み	やや少ない	前年並み	103	489	(3)	
…	nc	nc	549	104	…	nc	nc	前年並み	やや多い	やや多い	やや少ない	107	490	(4)	
4,700	200	104	539	99	87,300 △	100	100	少ない	やや多い	やや少ない	やや多い	105	486	(5)	
…	nc	nc	542	99	…	nc	nc	少ない	やや多い	やや少ない	やや多い	104	493	(6)	
…	nc	nc	531	99	…	nc	nc	少ない	前年並み	やや少ない	やや多い	107	474	(7)	
5,900	1,200	126	532	100	150,000	1,100	101	やや少ない	前年並み	やや少ない	前年並み	103	497	(8)	
…	nc	nc	545	100	…	nc	nc	やや少ない	前年並み	やや少ない	やや多い	103	508	(9)	
…	nc	nc	505	99	…	nc	nc	前年並み	前年並み	前年並み	やや少ない	101	485	(10)	
2,600 △	400	87	515	95	104,000 △	5,900	95	少ない	前年並み	少ない	やや多い	97	516	(11)	
…	nc	nc	536	93	…	nc	nc	少ない	前年並み	少ない	やや多い	100	520	(12)	
…	nc	nc	502	95	…	nc	nc	少ない	前年並み	少ない	やや多い	96	509	(13)	
3,500	400	113	541	99	89,800	600	101	やや少ない	やや多い	前年並み	やや少ない	105	497	(14)	
…	nc	nc	534	101	…	nc	nc	少ない	やや多い	やや少ない	やや多い	109	470	(15)	
…	nc	nc	550	100	…	nc	nc	前年並み	やや多い	やや多い	やや少ない	105	503	(16)	
…	nc	nc	513	91	…	nc	nc	少ない	前年並み	やや少ない	やや少ない	98	508	(17)	
4,300	100	102	488	97	214,600 △	5,400	98	…	…	…	…	101	472	(18)	
500 △	800	38	481	94	49,500 △	3,400	94	…	…	…	…	103	463	(19)	
…	nc	nc	450	91	…	nc	nc	やや多い	やや少ない	前年並み	少ない	99	451	(20)	
…	nc	nc	502	96	…	nc	nc	前年並み	前年並み	前年並み	前年並み	105	472	(21)	
…	nc	nc	499	95	…	nc	nc	…	…	…	…	105	470	(22)	
…	nc	nc	439	90	…	nc	nc	…	…	…	…	97	449	(23)	
1,300 △	300	81	507	98	51,200 △	1,100	98	前年並み	やや少ない	やや少ない	前年並み	101	488	(24)	
1,500	800	214	531	103	68,500	2,800	104	やや多い	やや少ない	前年並み	前年並み	104	499	(25)	
…	nc	nc	528	104	…	nc	nc	やや多い	前年並み	やや多い	前年並み	104	494	(26)	
…	nc	nc	555	103	…	nc	nc	やや多い	やや少ない	前年並み	やや多い	103	527	(27)	
…	nc	nc	510	101	…	nc	nc	前年並み	前年並み	前年並み	前年並み	104	480	(28)	
1,000	400	167	424	91	45,400 △	3,700	92	…	…	…	…	93	445	(29)	
…	nc	nc	429	87	…	nc	nc	前年並み	前年並み	前年並み	少ない	88	477	(30)	
…	nc	nc	418	96	…	nc	nc	少ない	前年並み	少ない	前年並み	100	409	(31)	
…	nc	nc	453	92	…	nc	nc	…	…	…	…	95	469	(32)	
…	nc	nc	384	90	…	nc	nc	…	…	…	…	91	411	(33)	

- 7 予想収穫量（主食用（生産者ふるい上米））（③）及び予想収穫量（主食用（生産者ふるい下米を含む））（⑥）については県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
- 8 本表における主な収量構成要素の前年比較区分は、「多い」が対前年比106%以上、「やや多い」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや少ない」が98～95%、「少ない」が94%以下に相当する。
- 9 徳島県、高知県における県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を作期別に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。
- 10 作況単収指数とは、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a 当たり予想収量の比率である。なお、当該指数の算出に用いた10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低を除く）は、農業地域、県、作期及び作柄表示地帯それぞれ除外年次が異なるため、各作況単収指数は関連しない場合がある。
- 11 「nc」は、計算不能であることを示している。

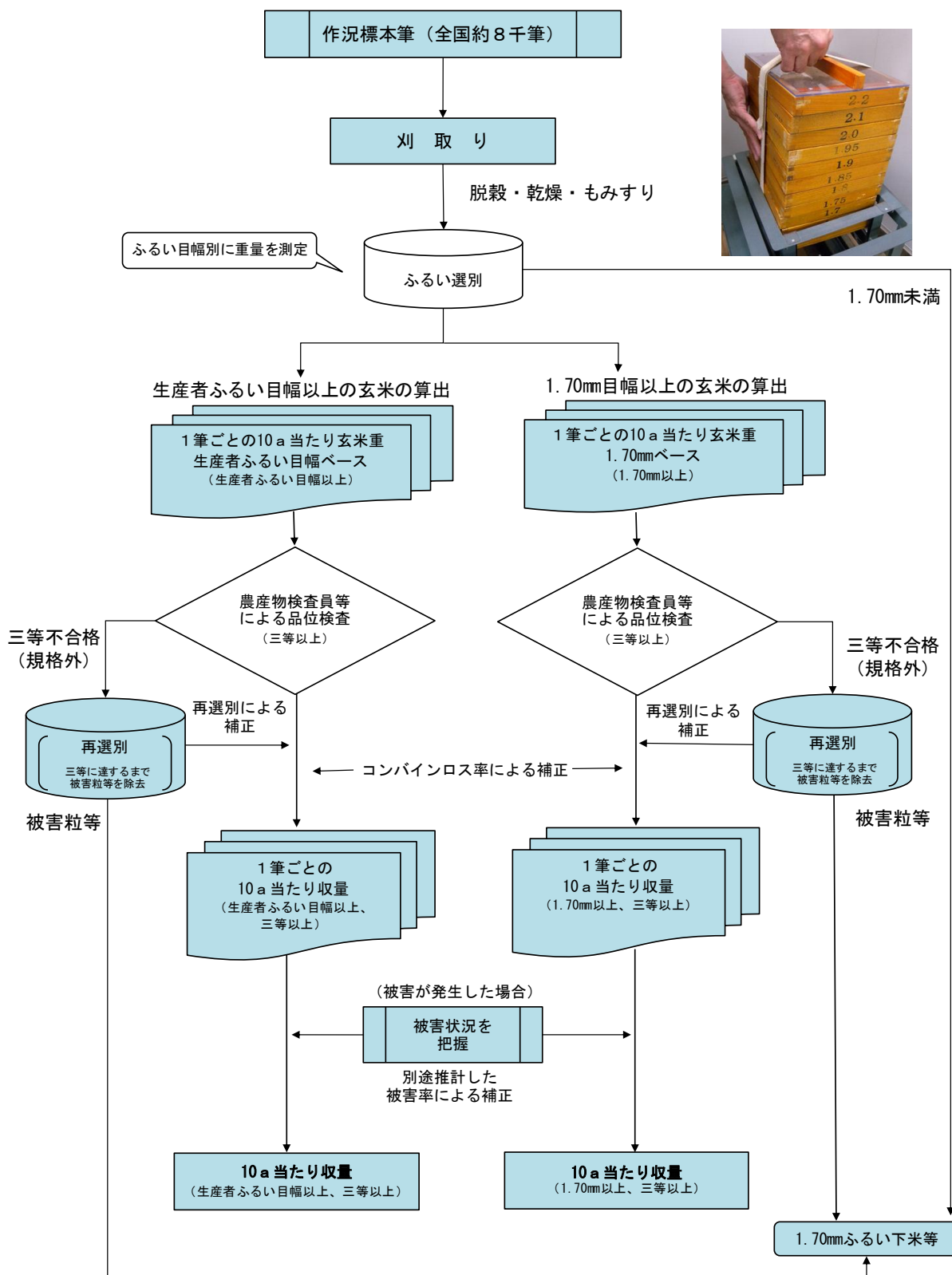
水稻作付面積の概念図



【参考 2】

刈取り調査における 10 a 当たり収量の算出方法

作況標本筆（【参考 3】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当するよう選別を行い、その重さを計測し、コンバインロス率及び被害率による補正を行い10 a 当たり収量を算出している（下図参照）。



【参考 3】

作況標本筆^{ふで}とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（1枚のほ場を筆と呼ぶ。）^{ふで}は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約8千筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）



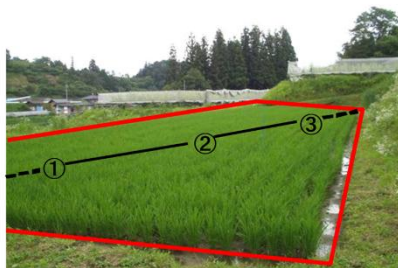
- 1 全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）



- 2 標本単位区の中から無作為に1枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約8千筆）

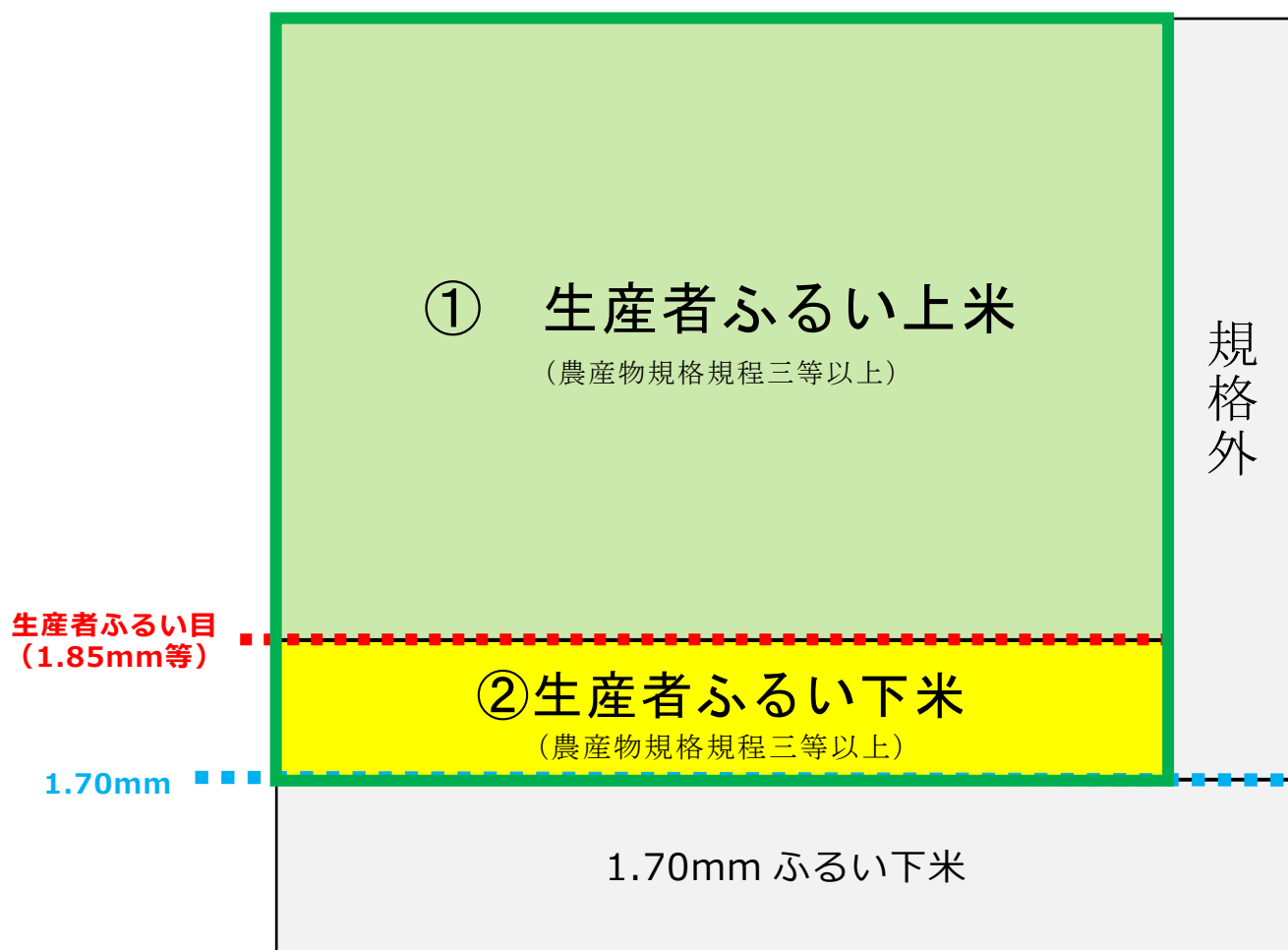


- 3 各作況標本筆の対角線上の3か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに1㎡（合計3㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【参考 4】

水稻収穫量調査の収穫量イメージ

- ① 収穫量（生産者ふるい上米）は、都道府県ごとに最も使用されている生産者ふるい目（1.85、1.90mm 等）以上で農産物規格規程三等以上の収穫量を対象としている。
- ② 収穫量（生産者ふるい下米）は、ふるい目幅 1.70mm 以上、農産物規格規程三等以上で生産者ふるい目幅未満の収穫量を対象としている。
- ③ 収穫量（生産者ふるい下米含む）は、①と②をあわせた収穫量（緑枠）を対象としている。



【統計表】

https://www.maff.go.jp/chushi/info/toukei/00chushi/attach/xls/r08sui00_0925.xls

【調査の概要】

・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻調査結果の主な利活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めるところとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は中国四国農政局ホームページ「統計情報」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/chushi/info/>

- ・ 本資料のうち、作付面積は概数値であり、確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載（令和9年2月予定）します。
- ・ 次回（10月25日現在）の公表は、令和8年11月中旬の予定です。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

病害虫に関する情報：農林水産省＞組織別から探す＞消費・安全局＞病害虫の防除に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/>

※ 上記リンクでは、病害虫の防除に関する情報として、総合防除の推進や発生予察事業による病害虫の発生予測等について掲載しています。

なお、「植物防疫年報」として公開している病害虫の発生面積は病害虫の発生予測の参考として調査を行っているもので、農作物の作付面積、収量等の調査を行っている作物統計調査とは調査目的や調査方法等が異なります。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

中国四国農政局 統計部 生産流通消費統計課

電 話：086-224-4511(代表) 内線 2740、2741、2815

時間外直通電話：086-222-4450

◎農林水産統計全般について

中国四国農政局 統計部 統計企画課

電 話：086-224-4511(代表) 内線 2721、2727

時間外直通電話：086-224-9426



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷



○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について

水稲生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。

生産者・農業関係者ならどなたでも参加でき、皆様から共有いただいた全国各地の生育状況や被害情報などを地図上で確認できるほか、農業ニュースや気象情報も閲覧でき、日々の営農判断にもご活用いただけます。

以下の URL または右側の二次元コードから、ぜひご参加ください。

<https://minori-voice.maff.go.jp/lp/>



○水稲収穫量調査の試行調査について

一部の水稲生産者の方々を対象に水稲収穫量調査の試行調査を実施しております。

調査時期 令和8年9月、10月、11月の3回

調査方法 統計調査員による聞き取り、オンライン、郵送のいずれか

オンライン、郵送調査は農林水産省作物統計調査第2次試行調査事務局により実施します。

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。